



オリエンタル
コンサルタンツ

野崎 秀則 社長

社会価値創造企業つくる

「保全」「防災」「交通」「地方創生」「海外」の5つを重点化事業として定めて、取り組みを進めている。「その取り組みがうまく回転している。顧客の層も幅広くなってきた。新サービスもつくること

ができた。それが受注につながり、売り上げ、利益とも良い循環になっている。活動を通じた人材育成も併せてできている」と昨

年を振り返る。技術のほか、外勤、事務といった事業企画それぞれの人材育成でも成果を出したと強調する。

昨年12月には創立60周年の節目を迎えた。「次の成長をにらまなければならぬ」とし、2025年に向けて、経営理念、経営姿勢、行動指針を再構築するとともに、ビジョンを策定した。ビジョンでは「日本トップブ

ら、全体としてエリアマネジメントできる総合事業を目指す。それらをさらに展開していくため、i-Constructi

on、CIM、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)といった技術の高度化に向けた研究開発も進めていく方針だ。25年の業績は、現状の1・5倍を目指している。

携をさらに推進する。「インド高速鉄道もグループと連動して実施する」と力を込める。

働き方改革と生産性向上は、「人材の確保・育成や労働法の改正を踏まえると、働き方改革は待ったなし」と捉える。5年前から実施している「情熱とやりがいプロジェクト」と、2年前から行っている女性社員自らが成長し会社がそれをサポートすることを目的とした「Smile-3S活動」「シゴトカイゼン活動」が「現場にも定着しつつある」と見ている。「これをさらに強化しなければならぬ」と考えている」と意欲を示す。

ランドの技術を確立した上で、「社会価値創造企業をつくる」というスローガンを掲げた。「いままで提供してきた価値を磨くとともに、新たな価値を提供していく」とする。個別事業を進めていくだけでなく、各重点化事業を垂直統合しながら

く。「研修と実務が重なり合っで、実践を通じてPDCA(計画・実行・研究・改善)を回していく段階だ。社員の意見を取り入れながら、しっかり分析して進めていく」と語る。

海外展開は、オリエンタルコンサルタンツグローバルとの連

Smile-3S活動は「成果が出てきている。女性の定着人数、幹部職の人数も増えている。少しずつ向上している」と手応えを感じている。